

リサイクルによって石炭の代わりになる燃料をつくります

リサイクルプランナー



はい 廃プラスチックや紙くず、木くずなどの産業はいきぶつ 廃棄物をまぜ、あつしく 固く 固化して石炭の代わりになる燃料RPFを製造しています。低価格で品質が安定しているRPFは、高い発熱量があつてとても燃えやすいため、製鉄所などの工場に出荷します。また、工場でRPFを燃やして出た灰は回収し、薬品と一緒にセメントなどにまぜて土壌改良材に加工します。このようなリサイクルのループをおこなうことで、地球環境の保護にも貢献しています。



このお仕事に
ついた
きっかけ

知人の紹介で、以前から興味があった産業廃棄物業の仕事につきました。日ごろ出てくるゴミをそのまま捨てるのではなく、使える製品にリサイクルすることで、社会の役に立ちたいと思いました。

リサイクルプランナーってどんなお仕事をしているの？

荷下ろし



いろいろな業者さんから寄せられる産業廃棄物を、基本的には仕分けをしないままトラックから下ろします。ゴミの種類が固まらないように、ほぐしてまぜます。

原料のあら破碎



専用の破碎機で原料を砕きます。ホースやチューブなどのポリ塩化ビニルや大きな鉄など、まぜてはいけなものは目で確認し、破碎機に入れる前にスタッフが除去します。

成形



破碎された産業廃棄物は、ベルトコンベアで成形機に送られ、170度の高温で固められてRPFとなります。その後は散水機で冷却され、各ヤードで仮置きされます。

完成・出荷



全工程15分ほどで出来上がったRPFは、トラックで大分市内の大規模工場などに出荷されます。現在は一日最大24トン、1週間で約140トンを生産し出荷しています。

こんな人も
働いています！

- 建造物解体工事監督
- 10トンダンプトラック運転手
- 石炭代替燃料製造工場工員
- 大型重機運転手

この会社に教えてもらったよ！

限りある資源を未来へ繋ぐ

株式会社東部開発

本社／大分市大字迫字丸山658-1 TEL／097-522-3111

創業／1969年9月 従業員数／101名

工場・拠点／固形燃料製造工場、横尾処理センター、燃焼灰造粒固化工場



株式会社 東部開発



HP



会社見学 OK



出張授業 OK

株式会社東部開発はこんな仕事をしています

建物の解体工事

老朽化や新しく建てかえるために、ビルなどの建物を解体します。危険には十分注意して、周囲の住民の方の迷惑にならないように安全に工事をします。



緑化推進事業

CO₂削減効果があり、90種以上の栄養素をふくむと言われるモリンガを育てています。また、大分県の特産物でもある椎茸の栽培、お米の生産もおこなっています。



リサイクル製品の製造

解体などで収集した廃棄物から、取引先の要望にあった土壌改良材や舗装材、コンクリートブロックなどを製造しています。



廃棄物や残土の適正処分

リサイクルができない廃棄物は埋め立てをします。廃棄物の埋め立てはきびしい法律で規制されており、未来のために安全・安心な管理をしています。



CHECK!

官民連携型リユースショップ「ジモティースポット大分」をオープン

大分市と協力し、官民連携型のリユース拠点「ジモティースポット大分」を2026年9月18日にオープンしました。店舗の運営を通じて、資源循環の加速と廃棄物処理コストの削減を目指します。あつかうリユース品は家具、生活家電、子供用品、衣類などで、無料商品もあついています。

